

紙・包装資材  
保険代理業・不動産  
株式会社 赤澤紙業  
仙台支店/〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目12-11  
TEL.022-235-4251(代) FAX.022-232-4256

2025  
6月24日  
火曜日

# 建設新聞

発行所 建設新聞社

本社  
青森支局  
岩手支局  
秋田支局  
山形支局  
福島支局  
東京支局  
仙台市青葉区春日町7-5 TEL022(221)4601  
青森市古川1丁目21-11 TEL017(722)8631  
盛岡市菜園1丁目3-6 TEL019(651)8045  
秋田市山王4丁目3-10 TEL018(862)6921  
山形市松波1丁目10-16 TEL023(641)2800  
福島市宮下町17-20 TEL024(534)0138  
東京都江東区豊洲1-3-1 TEL03(5547)1367



## 東北アライアンス建設を設立 代表取締役に 陰山正弘氏 みずほ銀が共同出資

東北6県の  
建設会社  
7社

技術補完し広域的な地域課題解決へ



東北では震災復興需要や人口減少による市場縮小を背景に、地元建設業者は経営資源の最適化、人材不足、技術的制約といった課題に直面している。「アライアンス」は同盟や連携を意味し、単独企業では達成が難しい目的・目標がある場合や競争力を高めるための経営戦略として用いられる協力関係のこと。藤本建設(青森市)、NICHEN(新潟市)、IUN(同)、タカヤ(盛岡市)、大森建設(秋田県能代市)、幸栄建設(山形県東根市)、深松組(仙台市)、陰山建設の7社が集結し、ノウハウや技術を補完し合い、広域的な地域課題の解決に取り組んでいく。

「価値共創投資枠」を活用し、この取り組みを全面的に支援する。単なる資金提供にとどまらず、みずほの広域ネットワークを活用し、地域建設業界の成長戦略を加速させる機動的なサポートを行う。ビジネスの実装フェーズでは東北アライアンス建設の信用力の補強が求められるための経営戦略として用いられる協力関係のこと。

みずほ銀行は、22日に、みちのくの風2025宮城を仙台市の東北学院大学五橋キャンパスで開催した。会員らが日頃の学術研究の成果を発表したほか、講演会などが行われた。

新会社では、域内経済循環の促進、人材確保と技術発展、地方創生を支える持続可能な事業を起点とした新たなサプライチェーン構築、アライアンス支援で役割を果たす。

7社の直近完工高合計は570億円。従業員数は4570人。みずほ銀行の出資比率は35%。6月30日の会社設立予定。発行株式は1万4000株(総額1億4000万円)。資本金は7000万円。

新会社設立は、地域建設業が抱える課題を解決するプラットフォームとなり、DXや災害対応などの取り組みを加速させる。新会社設立は、復興の経験を次の時代につなぐ第一歩となる。東北から世界に通用するビジネスモデルにしたい」と抱負を述べた。

△災害対応強化△デジタル化△DX推進△地域案件の地産地消△の実現を目指す。会社設立後に大臣許可を取得する予定。

23日、東京都内で開かれた設立記者会見で関係者が協定書を取り交わした。陰山氏は、同時に事業の成長に大きく貢献できる」と趣旨を説明した上で、「地域の課題に取り組むモデルケースとなる」と意気込みを示した。

陰山氏は、直接資本参加することでリスクをシェアす

ることで、事業を起點とした新たなサプライチェーン構築、アライアンス支援で役割を果たす。

陰山氏は、直接資本参加することでリスクをシェアす</p